叙勲・褒章　受章おめでとうございます

令和８年秋の叙勲・褒章、第47回危険業務従事者叙勲受章者は11月３日付けで発令されました。
市内では次の皆さんが受章されました。

令和8年秋の叙勲

瑞宝小綬章
－内閣府行政事務功労－



井内（いうち） 利秋（としあき） さん
（新穀町・70歳）
元 国立公文書館総務課長

昭和50年に旧総理府に入府し、42年間、国の行政事務に奉職しました。総理大臣官邸での秘書業務をはじめ、沖縄振興など幅広い業務に尽力。国立公文書館では、公文書管理法の施行を受け、同館の体制強化に邁進し、最後の2年間は総務課長として、新館整備に向けた調査などを担いました。「仕事にも人にも真摯に向き合う」ことを心掛けてきたと語り、受章は「関わった全ての人と家族に感謝」とほほ笑みました。

瑞宝双光章
－郵政事業功労－



髙橋（ひろゆき） 宏幸 さん
（相去町・71歳）
元 日本郵政公社職員（特定郵便局長）

昭和53年に旧郵政省に入局し、42年間にわたり郵便事業に携わってきました。平成18年から永岡郵便局（金ケ崎町）、陸中飯豊郵便局、北上本通郵便局で局長を歴任。平成26年からは岩手県西部地区連絡会副統括局長を兼務し、地域の人が気軽に相談し頼れる郵便局を目指し、地域に根差した運営に尽力しました。「親子三代続けて受章できた。恩師や同僚、地域の皆さん、家族の支えがあってこそ」と受章を喜びました。

旭日双光章
－建築設計監理業振興功労－



赤坂（あかさか） 忠美（ただみ） さん
（上野町・70歳）
元 岩手県建築士事務所協会副会長

昭和57年に赤坂建築事務所を開設し、44年にわたり地域の建築文化の継承と街並みの形成に携わってきました。岩手県建築士事務所協会副会長を平成26年から令和８年まで務め、建築関係講習や法定講習などの講師として、建築士の人材育成や設計監理の適正化に取り組み、建築物の品質向上に尽力。受章は「地道に取り組んできたことが認められた。協会の皆さんや師匠に感謝している」と述べました。

旭日双光章
－保健衛生功労－



及川（おいかわ） 優（まさる） さん
（立花・85歳）
元 北上医師会会長

昭和54年に及川放射線科を開設し、訪問診療や40年以上にわたる学校医活動を通じて、地域医療を支えてきました。北上医師会会長などを20年務め、病院と診療所の連携を推進するなど地域に密着した医療を実現。平成５年には地域の人たちと共に社会福祉法人博愛会を設立し、特別養護老人ホームの運営や在宅緩和ケア支援事業にも力を注ぎました。受章は「関係者や先輩医師、家族など周囲の人に恵まれた」と感謝しました。

令和8年秋の叙勲

旭日双光章
－地方自治功労－



武田（たけだ） 勝（まさる） さん
（和賀町煤孫・78歳）
元 北上市議会議員

平成20年から北上市議会議員を４期16年務め、地域住民の声に耳を傾け市政に届けるという強い信念のもと、産業振興や都市基盤の整備などに尽力。岩手中部水道企業団議会議長を務めた際は、近隣市町と連携した水道水の安定供給など、地域住民の安心安全な暮らしの実現に貢献しました。受章は「支えてくれた地域の皆さんや先輩、自由に活動させてくれた家族のおかげ」と振り返りました。

令和8年秋の褒章

黄綬褒章
－業務精励－



太田（おおた） 喜直（よしなお） さん
（大堤北・56歳）
南部電気工事㈱代表取締役社長

平成20年に南部電気工事㈱の代表取締役社長に就任し、高い技術力を要する公共・重要インフラ工事に尽力してきました。未経験者の採用と資格取得を支援し、人材確保・育成に貢献。電気工事業では県内初の完全週休二日制を導入しました。令和３年からは岩手県電業協会会長として、歴代会長の意志を継承し、労務単価や労働環境の改善に努めています。受章は「家族のような社員や関係者の皆さんに感謝したい」と話しました。

第47回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章
－消防功労－



千田（ちだ） 勝喜（かつよし） さん
（和賀町岩崎・76歳）
元 北上地区消防組合消防司令長

昭和49年に旧北上地区消防等組合に入職し、36年間地域住民の安全・安心のため消防防災業務に尽力。西和賀消防署に勤務していた約30年前、錦秋湖付近の国道でのトラック転落事故では、救助が難航する中、早朝から昼過ぎまで同僚とともに懸命に救助活動にあたりました。北上消防署勤務時、ポンプ操法に挑む婦人消防協力隊に寄り添い、全国大会入賞へ導きました。受章は「先輩や同僚、縁者、連れに感謝」と述べました。

黄綬褒章
－業務精励－



佐藤（さとう） 治（おさむ） さん
（上野町・71歳）
㈲佐藤四三室内代表

50年以上にわたり、表具師として研さんを積んできました。特にも染みやしわを除去する技術に精通。古地図や書物などの修復が難しい依頼を手掛けるなど卓越した技術が評価され、令和７年度には「卓越した技能者（現代の名工）」に選ばれました。父と同じ章の受章を喜びつつ、「長年ついてきてくれた従業員に感謝。今後も技術の向上に努めたい」と思いを語りました。

第47回危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章 －防衛功労－　髙橋（たかはし） 正（ただし） さん（和賀町藤根・71歳）元 准空尉

※本人の希望により氏名・住所・年齢のみ掲載しています。